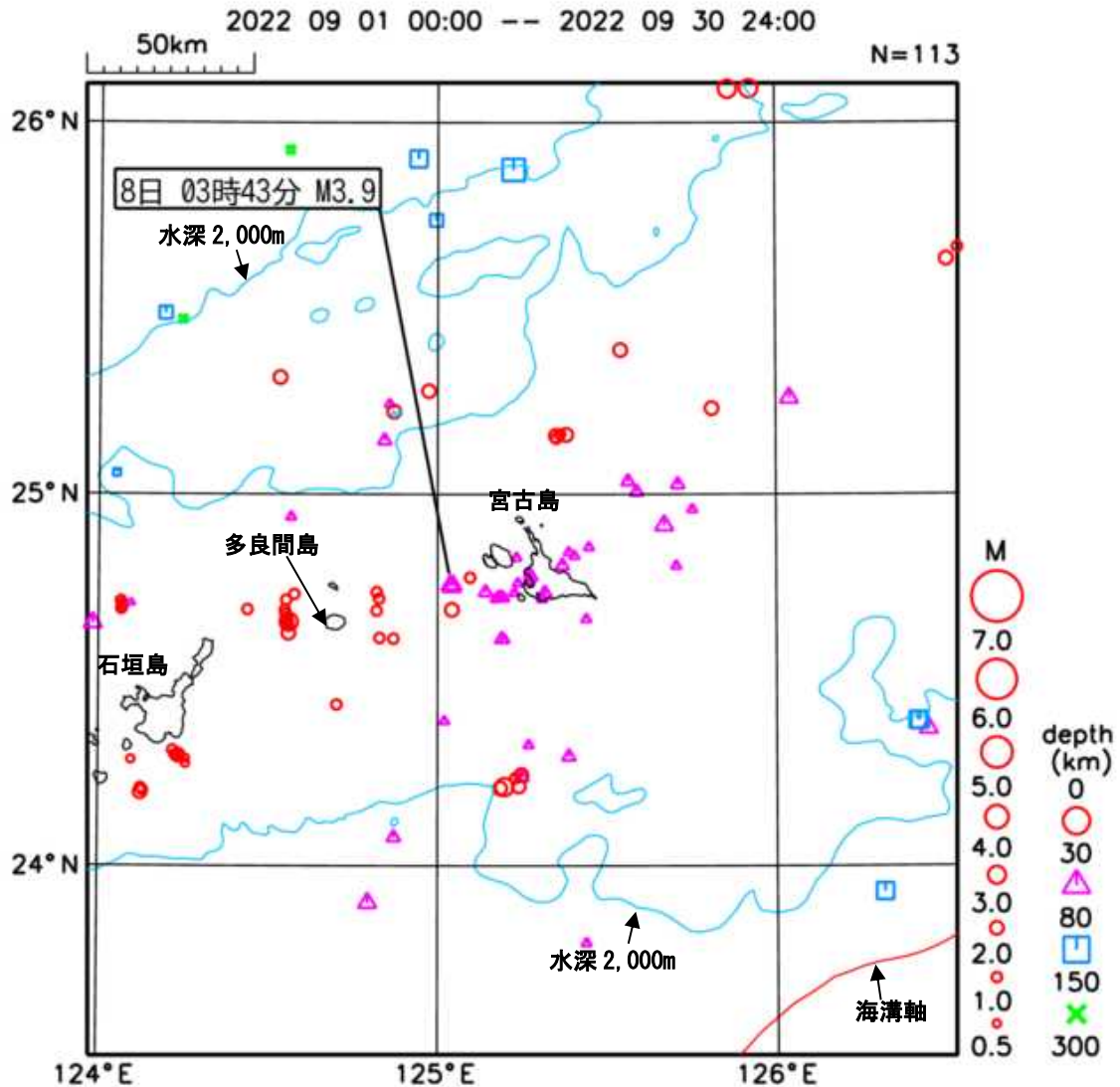


宮古島地方の地震活動図

令和4年（2022年）9月

宮古島地方気象台

震央分布図



図中の記号 M：マグニチュード depth：震源の深さ
N：地震の回数（マグニチュード0.5以上の回数です）
宮古島地方で震度1以上の地震を観測した場合は、吹き出しで示しています。

【概況】

今期間（9月）、宮古島地方で震度1以上を観測した地震は1回（8月は2回）でした。
18日15時44分に台湾付近で地震（M7.3、深さ3km）が発生しました。この地震により気象庁は宮古島・八重山地方に津波注意報を発表しましたが、津波は観測されませんでした（別紙1参照）。

宮古島地方で震度1以上を観測した地震の表(期間:9月1日~30日)

震源時 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2022年09月08日03時43分	宮古島近海	24° 45.2' N	125° 02.4' E	31km	M3.9
沖縄県	震度 1 : 宮古島市城辺福北, 宮古島市平良池間, 宮古島市下地*, 宮古島市上野支所*, 宮古島市平良西里*				

*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※宮古島地方の震度観測点のみ記載しています。

※ 資料中のデータについて

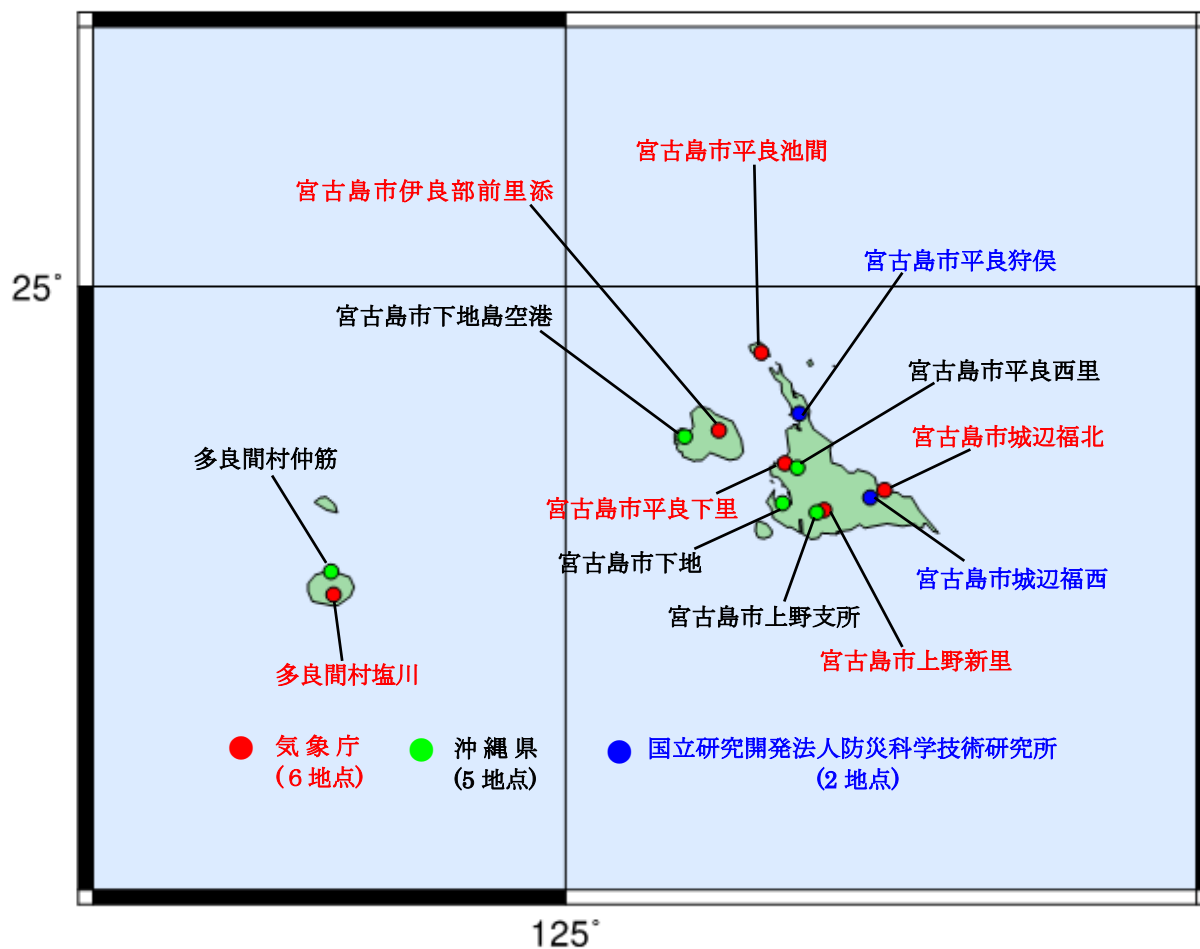
この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※ 概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

※ データについては精査により、後日修正することがあります。

宮古島地方の震度観測地点



○ 宮古島地方の地震活動図

URL <https://www.data.jma.go.jp/miyako/topix/earthquake.html>

過去の地震活動は宮古島地方気象台のホームページで閲覧できます。

本件に関する問合せ先 宮古島地方気象台 電話0980-72-3054



○ 防災一口メモ (沖縄気象台HP)

URL <https://www.data.jma.go.jp/okinawa/know/memo/sougou.html>

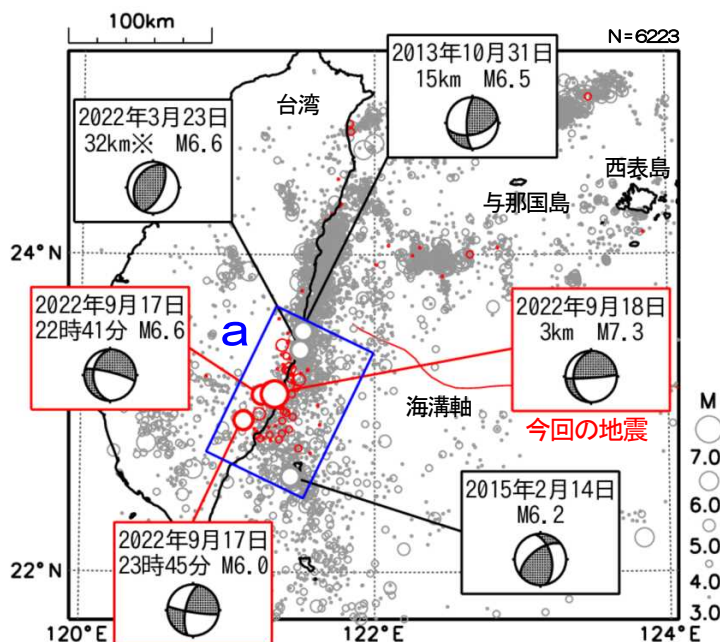
季節ごとに注意すべき自然現象や、防災情報の利活用方法について解説しています。

○ 震度1以上を観測した地震の震度分布図は、気象庁ホームページ「震度データベース検索」をご覧ください。

URL <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.html>

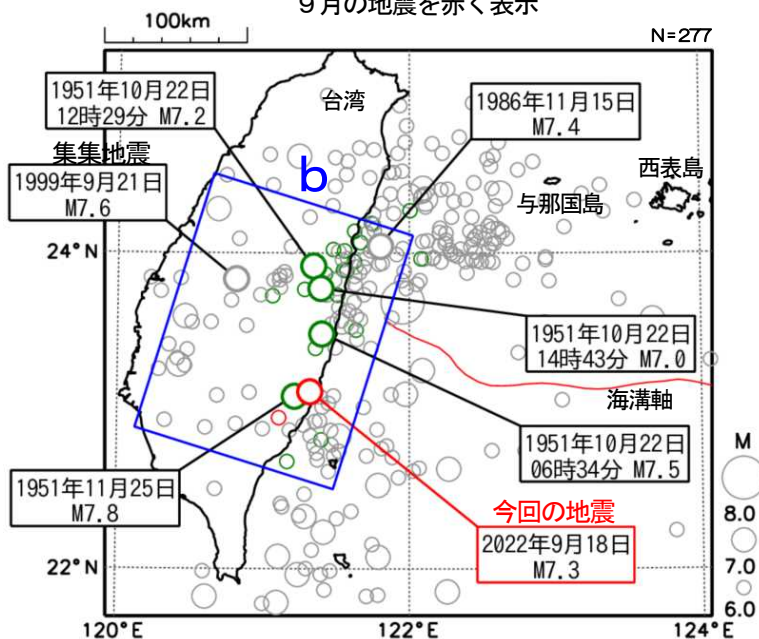
9月18日 台湾付近の地震

震央分布図
(2009年9月1日～2022年9月30日、
深さ0～50km、 $M \geq 3.0$)
2022年9月の地震を赤く表示
図中の発震機構はCMT解



※の付いた地震の深さはCMT解による。

震央分布図
(1904年1月1日～2022年9月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)
1951年10月～12月までの地震を緑で表示、2022年
9月の地震を赤く表示

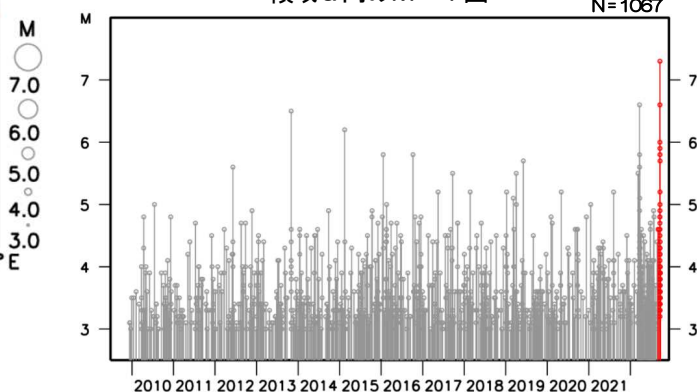


2018年までの震源要素はISC-GEM、2019年以降の地震の震源要素は気象庁による。

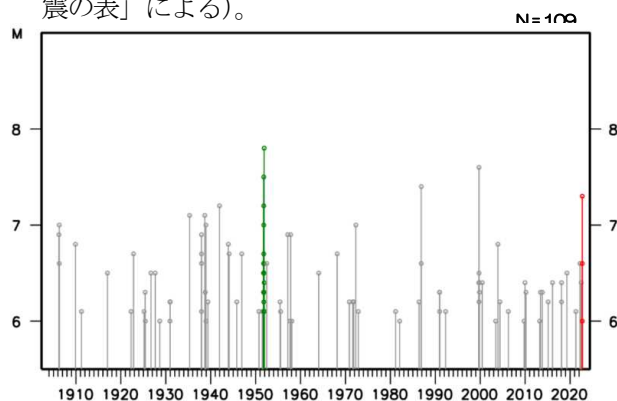
2022年9月18日15時44分に台湾付近の深さ3kmでM7.3の地震（国内で観測された最大の揺れは震度1）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、北北西-南南東方向に圧力軸を持つ型であった。気象庁はこの地震に対し、同日15時49分に宮古島・八重山地方に津波注意報を発表した（同日17時15分に解除）。なお、この地震による津波は観測されなかった。また、この地震による日本国内の被害はなかった（総務省消防庁による）。

2009年9月以降の活動をみると、この地震の震央付近（領域a）では、M6.0以上の地震が時々発生しており、2022年3月23日のM6.6の地震では、日本国内で観測された最大の揺れは震度2であった。

領域a内のM-T図



1904年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、過去にM7.0以上の地震が時々発生している。1951年10月から12月にかけてM7.0以上の地震が4回発生した。1986年11月15日にM7.4の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度3）により、宮古島平良で30cmの津波を観測し、台湾では死者13人、負傷者45人などの被害があった。また、1999年9月21日に集集地震（M7.6、日本国内で観測された最大の揺れは震度2）が発生し、台湾では死者2,413人、負傷者8,700人などの被害があった（被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による）。



領域b内のM-T図